

協働

2025年度第2回地区ミーティングの紹介

【9 地区ミーティングの様子】

第2回地区ミーティングは、12月22日（月）に成瀬台中学校を会場としてスタートいたしました。成瀬台中学校福田秀樹校長先生からは、自校の取組みとして「社会人先生」や「ひな人形・こいのぼり・五月人形」に関わる地域連携についての話が挨拶の中で紹介されました。各学校からは、2学期の活動内容と3学期の取組みが報告されました。成瀬台小学校・成瀬中央小学校・成瀬台中学校の3校で取組まれた「国際交流授業・ハワイの方々との交流学习」の紹介がありました。「統合して新たに気付いたこと」として、成瀬小学校 VC より報告がありました。内容としては、準備段階で双方ともに時間をかけて話し合いを重ねたが、準備が不足していた点も見えてきたとのことでした。吉成校長先生からは、学校に新たな課題が見えてきた中であっても、児童は「新しい成瀬小学校を自分の学校」と捉え、元気に過ごしている姿があるとの話がありました。



【10 地区ミーティングの様子】



1月6日（火）鶴間小学校にて、10地区ミーティングが開催されました。10地区は、9校が配置されており一番の大所帯地区です。地区をまとめ、いつも準備を進めてくださっている井上統括VCの調整力には、頭が下がります。まず初めに、鶴間小学校杉本校長先生から、「地区ミーティングは、各学校と情報交換をしていく良い機会であり、今後も一層深めていきたい。」という話がありました。各校からは、2学期の活動内容と3学期の取組みが報告されました。中学校からは、不

登校・別室登校生徒・職場体験、ひまわりプロジェクト・つくし野ハロウィン・小中で取組めたTURUMAイルミネーションの紹介、小学校からは、体育館での「お祭り」を地域連携で取組んだこと、子ども達からの「これがしたい」の声から体験活動を実施したこと、学校の研究発表の中で体験学習を取り入れたこと、バケツ稲の稲を利用してのわら細工を作ったこと、ジャイアンツ野球教室等の紹介がありました。また、PTA組織解散の話がありました。PTAに代わる団体として新たに保護者からの手伝い支援が始まる等の紹介がありました。グループワークは、4

グループに分かれ、それぞれのテーマで話し合いを行いました。あるグループでは、「学校VCに求めるもの&地域学校協働活動の在り方」などについて熟議を重ねました。

【7地区ミーティングの様子】

翌1月7日（水）町田第一小学校のランチルームをお借りして、第7地区ミーティングを開催しました。佐野校長先生から箱根で優勝した青山学院大学の話があり、選手の合宿所は町一小のすぐ近くにあるそうです。新「山の神」黒田朝日選手の激走は、記憶に残るところです。各学校からは、2学期の活動内容と3学期の取組みが報告されました。中学校からは、放課後学習教室のボランティア募集の方法・地域連携で中学生の活躍の場を提供していただいていること等の紹介がありました。小学校からは、地域連携プロジェクトの取組み・教科の単元学習の中に位置付けた地域学習活動の取組み・消防団との防災教育・地域プールの活用についての紹介がありました。グループワークがあり、管理職・地域連携担当教諭・VCの3グループに分かれて行いました。テーマについてもグループごとに設定され、中身の濃い充実した意見交換が行われました。



【6地区ミーティングの様子】



【3地区ミーティングの様子】



【1地区ミーティングの様子】



【8地区ミーティングの様子】

町田第二中学校高橋校長先生より、「地区ミーティングは、小中（大人たち）の集まる大事な会であり、年度の締めくくりに行われることに意義があり、各学校で活躍されているVCの皆さんの動き方や情報の共有ができる大切な場であると考えている。」との話がありました。

各学校からは、2学期の活動内容と3学期の取組みが報告されました。中学校からは、VCの3月謝金について、学校から捻出できないものか・学習支援教室

及び不登校対応についての現状と課題（人材確保）の話題・生徒の活動発表（文化部）を地域で設定していただき生徒の励みになっていること、小学校からは、各学校で行われている「〇〇プロジェクト」に地域連携の活動として広がりがみられたこと・環境教育を進めていく中で地域との深いつながりを再発見したこと・中学校文化部の活動発表の場を地域と連携して確保していること・地区ミーティングの情報共有から新たな活動ができた等の紹介がありました。管理職グループと地区担当教諭・各学校VCグループに分けたグループワークがありました。様々な提案やアイデアが出されていましたが、時間の都合上、情報共有できませんでした。情報共有については各学校の持ち帰りとなりました。

【4地区ミーティングの様子】



【2地区ミーティングの様子】



【5地区ミーティングの様子】

2月19日（木）金井中学校・図書室で第5地区ミーティングが開催されました。会場の前面には、「まちかど子どもギャラリー」を参観された多くの市民の皆様からの「ありがとうメッセージ」が掲示され、私たちを迎えてくれました。初めに会場校の松岡校長先生から開会の挨拶があり、町田第5地区をよりよくするための熟議を大切にする機会であることを確認していただきました。各校の「地域と連携した学校教育活動」の報告、その中で、子どもたちと地域が連携して取組んだ

サービスラーニングの取組実践も報告されました。「まちかど子どもギャラリー」の振り返りでは、協力事業所が115か所に広がったという報告もされました。地域コミュニティに子どもたちの作品が展示される価値について共通理解する良い機会ともなりました。MT後半は、統括VCの司会で「第5地区をさらに良くするために」をテーマにフリートークが行われました。学校支援センター、管理職、地域連携担当教員、VCがそれぞれの立場で自由に意見を交流する良い機会となりました。CSと学校運営協議会の役割をさらに発揮するために、地域学校協働活動への管理職・地域連携担当教員、VCの関わり方、今後のCSとPTAとの連携の在り方について等の課題について、相互の意見を尊重しながら、各校が社会に開かれた教育課程、第5地区の学びの地図を描く価値のある熟議になったと思われました。

*スペースの都合上、1・2・3・4・6地区の記事については、第1回の地区ミーティングの様子をご覧ください。

【小山中学校“学校運営協議会”の様子】



2月18日（水）15：00～16：30

小山中学校「学校運営協議会」を参観させていただきました。出席者は、学校運営委協議委員の方たちと、各学年主任・養護教諭、生活指導・教務・進路指導・経営支援部主任、土屋校長先生、河野副校長先生（司会）です。校長先生の挨拶の後に、各分掌主任の先生方から、今年度の成果と課題について説明がありました。その中で、英語科授業のAIを活用した授業紹介と3学年の生徒が校外学習に取り組む中から、「自分たちを変えていこう」と自らの変革に取り組む姿勢について紹介されました。土屋校長先生からは、本年度

学校評価・次年度学校経営について、分かりやすい丁寧な説明があり、最後に次年度の学校運営協議会の組織の在り方についての説明で閉会となりました。

【第5回統括VCミーティングの様子】

本年度、最終の第5回統括VCミーティングが2月26日（木）町田市庁舎2階市民協働おうえんルームにて、10名の参加者で開催されました。宮島GVCより、2025年度学校支援センター地域学校協働本部事業概要として、以下のような報告がありました。

① 2025年度学校支援ボランティア（地域学校協働活動等）実態調査についての確認

② 令和7年度第5・6回東京都統括コーディネーター会議報告

参加された山口統括より報告 11/21 フォーラム（板橋区）に企画・運営で参加された井上統括より報告

③ 天利GVCより都に提出したKTP振り返り表・統括CO配置成果事例の説明

④ 第2回地区ミーティングについて各地区より成果及び課題の報告

（成果）VCの横のつながりを新たに確認できた。グループワークを3グループ（管理職・VC・地域連携担当教員）ごとに分け熟議することで、充実した話し合いができた。クロムブックの活用について様々な研修ができた。グループワークのテーマとして「地区ミーティングの活用」について話を進めることができた。管理職より「地区ミーティングの意義」について話があり、会がスムーズに進めた。

（課題）教職員へのVCの紹介がなかった。名札を作成していただけなかった。予算管理をVC任せにしている。管理職から「地区ミーティングが必要なのか」の意見が出された。小中学校の連携が進んでいない。VCとの連携が進んでいない。各ボランティアの高齢化が進み、活動内容を縮小・中止の現状が起こっている。ボランティアの活動を各学校で共有できてよかった。

⑤ 黒部GVCより、統括VCの皆さんより回答いただいた年度末アンケートの「成果と課題」について、次のような報告がありました。日々、VCの皆さんの努力によってCSが成り立っていることへの再確認。各学校の学校評価項目「ア 社会に開かれた教育課程の実現に関すること／学校は地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている」の問いについて、中学校の肯定的意見が5.5ポイント上昇した。地域未来塾（放課後学習）を中心とした、VC・学校のかかわりが進んだことが、保護者に理解されたと捉えられる。VCと地域連携担当教諭との打ち合わせ時間がとれない状況が解消されない。その他、フリートーキングでPTAの解散により、新たなコミュニティづくりの内容に話がおよびました。最後になりますが、統括VC・各学校VCの皆様方、本当に1年間の活動ありがとうございました。コーディネートの難しさや大変さ等、「見えにくい活動」であるからこそ重要な活動と捉えています。次年度も引き続き、VC皆さんの伴走支援を支援センターは行ってまいります。

